



SuPドリームズのTwitterを始めました。  
フォローして最新情報のゲット、  
そして応援Tweetをお願いします!



@79\_SuP\_Dream



## いよいよ鈴鹿8耐第40回記念大会の公式日程がスタート。 公式予選で3名のライダー全員が自己ベストを更新! 決勝は14番手からチームの総合力で臨む!!

ついに第40回記念大会、そしてSuPにとっては初挑戦となる鈴鹿8時間耐久ロードレースのレース公式日程が7月27日(木)からスタート。この日はマフラーの音量測定を含むマシンの公式車検を受けた後、特別スポーツ走行に参加してマシンセッティングをさらに煮詰めた。

翌28日(金)はいよいよ公式予選日。この公式予選は今年からFIM-EWCのルールに則り、登録ライダー全員による全セッションでのベストタイムの平均が総合結果に変わった。つまり、トップ10トライアルへの進出を果たすためには3名が腕章の色によって分けられたそれぞれのセッションでトップ10入りするレベルのタイムをマークすることが求められる。西コースを中心に小雨が降る中、セッティングを煮詰める最後のチャンスとなる120分間のフリー走行がスタート。その後、1回目の公式予選が11時30分に始まった。

まず青腕章(ライダー-BLUE)の伊藤真一がアタック、2分10秒233をマーク。続いてライダー-YELLOWのダミアン・カドリンがアタック。ダミアンがマークしたのは伊藤のタイムを0.011秒上回る2分10秒222だった。さらにライダー-REDのグレッグ・ブラックがコースイン。グレッグは2分10秒285をマークするとピットへ。そのままアタック終了となった。

15時10分からはじまった2回目の公式予選。伊藤はコースインして2周目に2分10秒043をマーク。ダミアンがアタックを開始。チームに加入し、マシンに馴染むのが最も遅かったダミアンが遂に9秒台に突入、2分9秒455をマークした。また、グレッグも2分10秒199をマークし、公式予選で全員が自己ベストを更新。

3名の平均タイムは2分10秒199で総合14位となり、これがそのまま決勝グリッド順となる。残念ながら、29日(土)に開催されるトップ10トライアルへの進出は叶わなかった。しかし、伊藤とグレッグはコンスタントに2分10秒前半で周回できるポテンシャルを披露。また、ダミアンは新型CBRに乗り慣れていないにも関わらず、早くも2名を凌駕する2分9秒をマークし、ライダーとしてのポテンシャルを見せた。

公式予選が終了した後はナイトプラクティス。決勝レースの夜間走行に向けた練習走行であるこのセッションではピット作業の練習も繰り返し行った。耐久レースでは予選順位よりもライダーが集中力を切らさず、コンスタントにタイムを刻むことが求められる。14番グリッドからスタート。3名のライダーのポテンシャルを含めたチームの総合力で上位入賞を目指すこととなる。



## 79 SuP Dream Honda

